



若草わかばだより

H29/12/22

No.4

高知市春野町弘岡下 2980-1、TEL088-894-5335、FAX088-894-2965

地域連携室の取組 ④



2017 年もカウントダウンに入りました。師走の冷たい風が身に染みる今日この頃、保護者の皆様、地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今回の若草わかばだよりでは、地域連携室の取組のうち、「就学前教室わかば」と「発達障害等の支援と合理的配慮」についてお伝えします。

就学前教室わかば

〔月 1 回、第 2 火曜日の午前 9：30～11：30〕

- ◇ 発達を促す遊びや子育てについての具体的な支援の方法を提案し、保護者とともに活動しています。
- ◇ 保護者、保育士等からの相談に応じています。
- ◇ 保護者同士の情報交換、交流の場です。

PT（高知若草養護 非常勤）の支援も受けられます。

アンパンマン見つけた！
立ち上がって見たい！



ユラユラ揺れるの
気持ちいいよ～



ほく、自分の
足で立ったよ！



※お子様の写真の掲載については、保護者の方の了承をいただいております。

家ではなかなかできない
ダイナミックな揺れ遊びな
どが体験できるのが毎月
楽しみです。



遊具やスパイダー、キラキラル
ームなど未体験だったので、こ
んなこともうちの子は喜ぶん
だ、と発見できました。



〔保護者の方の声〕

発達障害や発達の気になるお子さんの支援

本校 地域連携室は、地域の保育園幼稚園小中学校に在籍する肢体に不自由のあるお子さんの支援だけでなく、発達障害や発達の気になるお子さんの支援も行っています。ご存知でしたか？



例) 保育園支援では

肢体不自由児支援 37回

発達障害児等支援 37回

例) 教育相談では

肢体不自由児支援 7回

発達障害児等支援 50回

〔 今年度 4～12 月末までの訪問回数 〕



実は、肢体不自由児の中にも発達障害（自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害、学習障害等）の特性を併せ有するお子さんがいらっしゃいます。地域の先生方と一緒に、発達障害児等の支援について考えたり参考にさせてもらったり伝えたりした知識や方法を、校内の支援にも役立てています。

感覚の偏りへの合理的配慮

発達障害のお子さんは、感覚が過剰に敏感であったり、逆に鈍感であったり、偏りがある場合があります。

例えば、敏感な例として、
耳を押さえているお子さんは、私たちが感じるよりも、音や声をうるさく感じているのかもしれません。



感覚に偏りがあると、外部からの刺激に対して、不安になったり、落ち着きがなくなったり、パニックになったり、強いこだわりになったりすることがあります。

例えば、鈍感の例として、
ユラユラ揺れたり ピョンピョン跳んだりしているお子さんは、そういった感覚がわかりにくいため、強い感覚刺激を入れようとしているのかもしれません。



そこで、合理的配慮として、下記のように、嫌な刺激を取り除いたり、お子さんの欲しい感覚を十分に入れて満たしてあげたりすることで、安心して過ごせる環境を整えています。



イヤーマフで
苦痛な音を軽減



パーティションで
見え過ぎる苦痛を軽減



ハンモックブランコで
ユラユラ刺激をたっぷりと